



ニュージーランドへ行ってきました



～平成30年度中学生海外派遣事業報告～

佐賀中学校・大方中学校の3年生を対象とした中学生海外派遣事業が、8月14日(火)から24日(金)に行われ、選考を通過した12名の生徒(佐賀中学校8人、大方中学校4人)と引率者3名がニュージーランドへ行ってきました。その報告を大方中学校・西本教頭よりいただきました。



今回の中学生海外派遣事業で一番良かったことは、佐賀中学校、大方中学校12名の生徒が、代表としての自覚をもって、約束を守り、しっかりと行動できたことです。また、フェアフィールド中学校のバディの生徒が素晴らしく、親切にサポートしてくれたことで、黒潮町の生徒たちも、安心して学校やホームステイ先で過ごすことができたのだと思います。ホストファミリーの方々も本当にやさしく、親切に接してくれました。生徒たちが笑顔で過ごすことができたのもホストファミリーのおかげだと感謝しています。フェアフィールド中学校の生徒たちは、自分たちの国の文化や伝統に誇りを持っていて、それぞれの民族がお互いを尊重し合い、それぞれの良さを引き継いでいることを強く感じました。ニュージーランドの伝統の「ハカ」を生徒たちは、思いを込めて披露してくれました。女子生徒は、「タピオカ」をやさしい歌声でまわりを包み込み、歌に合わせて踊ってくれ、おおらかでくつろぎを与えてくれる瞬間でした。今年の黒潮町の生徒たちは、全校生徒、ホストファミリーの前で黒潮町の紹介と「よさこい鳴子踊り」を行いました。どの生徒も真剣に取り組むことができ、とても良かったと思っています。また、派遣団を代表した素晴らしいスピーチや、マオリショーではポンチョを、男子生徒全員がステージで「ハカ」に挑戦していました。羊の毛刈りショーでは、生徒が搾乳を行い、会場から大きな拍手をもらいました。さまざまな場面で生徒たちが助け合い、お互いを認め合う姿が見られ、出発時に比べると随分成長した姿に見えました。普段、今まで学校で自分の意思を相手に伝えることが少なかった生徒が、自分の思いをはっきりと伝えるようになったり、少しダラダラしたところのあった生徒が、自分に自信がもて、しっかりと生活するようになったりと活躍の場を広げていってくれています。

お別れパーティーでは、それぞれのホストファミリーが手料理を持ち寄ってくれ、温かい歓迎を受けました。そのパーティーでバディとともに黒潮町の男子生徒も腰みのをまとい、「ハカ」をホストファミリーの前で演じてくれ、力強さを感じました。最後に一人ひとりがお礼の挨拶を行いました。そこで感極まって涙する生徒もいました。最終日、フェアフィールド中学校を出発する際には、バディの生徒がバスまで荷物を運んでくれ、別れ際には、黒潮町の生徒もバディの生徒も涙する光景があり、本当にいい体験ができたのだと嬉しく思いました。

ホストファミリーへのお礼は、先生がユーモアを交えながら、しっかりとスピーチしてくれました。帰国後、役場佐賀庁舎での解団式では、代表生徒が自分の思いを素直にしっかりと表現してくれ、素晴らしい挨拶を行ってくれました。

このように生徒たちが違う国で生活し、学校教育を体験することで新しい自分を発見したり、さまざまな文化や伝統にふれることで、今までとは違った見方ができるようになったと思います。

今回の機会を与えてくださいました町長、教育長はじめ教育委員会の方には心より感謝いたします。また、担当の職員には、事前の指導をしっかりと行っていただいたおかげで、素晴らしい生徒たちの行動につながったと心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

黒潮町立大方中学校 教頭 西本 貴俊



絵付けの授業



マオリ文化の体験



ハカを習う様子

佐賀中学校 3年 碓 拓真

ニュージーランド派遣をとおして課題となったのが、コミュニケーションです。実践になると、リスニングができて英語での応答ができなくてとてもくやしかったです。例えば、ホストファミリーが質問してくれて応答する前に、次の質問がきて応答できないということがあって、そう言う思いがありました。こういう経験が自分の将来の夢の糧になって行くと思います。

そして、自分の将来の夢は2つあって、今迷っていて、1つは建築士でもう1つは遺伝子工学です。遺伝子工学を詳しく学ぶには海外で勉強したいと思いました。この研修は自分にとってとてつもなく莫大な経験値になったと思います。また、ニュージーランドでは、建築がとてもよくて多く学びました。モダン建築や伝統的な建築(マオリ村など)の外見です。内装についても見れて、ビリーの家はクラシックでほかの人達の家はモダンでした。幅広い建築が見れてよかったです。このようにニュージーランドでのたくさんの経験が夢の大切な材料となりました。

佐賀中学校 3年 伊與木 豪

ニュージーランドに行った経験は、僕にとって忘れられない一生の思い出となりました。ニュージーランドは、独自の文化が魅力的でさまざまな意味を持った挨拶の「キオラ」や、マオリ族が戦闘の前に踊る「ハカ」など、それらは学校でも習ったりしていて、とても深く生活に根づいていました。いくつかハカを踊る機会があり、僕達も踊ってみて、言葉にはうまく表せないけど、すごいなと思いました。

ホームステイでは、バディやホストファミリーのお母さん達はとても親切で、行く前はコミュニケーションをうまくとれるか不安だったけど、分かりやすいように話してくれたおかげで、僕がバディやファミリーに慣れるのに、あまり時間はかかりませんでした。学校では、友達の見学や校舎の案内をしてくれたり、家では、家族の話など色々な話をしました。日本とニュージーランドとの習慣の違いなども教わりました。この貴重な体験をいつか役立たせたいと思います。

佐賀中学校 3年 大谷 咲那

8月14日、いよいよ出発の日。私は、たくさんの期待と不安で押し潰されそうでした。でも、10日間は思っていたより短く感じました。そして、いろいろなことに気づきました。例えば、日本では挨拶をする時にお礼をしますが、ニュージーランドでは握手かハグが普通です。歓迎の時には、マオリ族伝統でお互いの鼻をくっつける「ホンギ」という挨拶をすることもあります。他にも、ニュージーランドのお風呂は湯船につかりません。食器を洗う時は、シンクに水をためて使います。決して、水を出しっぱなしにはしません。このようにニュージーランドは、水をとても大切にしている国です。日本でももっと水を大切にしたり、フレンドリーになったり、良いことは真似していきたいと思いました。私は、この研修でとても良い経験ができました。また、このような機会があれば積極的に参加したいと思います。

佐賀中学校 3年 稲田 寿凜也

僕は今年の夏ニュージーランドに行っていていろいろな違いや文化を学びました。その中には、衣服に関する違い、食べ物に関する違い、授業に関する違いがありました。

衣服に関しては、ニュージーランドの人と日本人は、温度の感じ方が違うらしく、ものすごい寒いと感じる日も短パンなどでニュージーランドの人はすごしていました。

食べ物は、魚が少なく、ものすごく肉を食べていました。そしてあまり炭水化物を摂ることが少なく感じました。

授業に関しては、ものすごく授業の自由度が高いと思いました。

そして英語に関する知識があるとその先の人生でいろいろと便利で有利な事だと僕は思いました。なので、しっかり勉強をして自分の人生を楽しんでいきたいです。

そして、今後この体験を生かして英語で話すときに楽しく話していきたいと思います。

佐賀中学校 3年 大石 千愛

ニュージーランドに着いたとき、とてもワクワクしました。初めてのことばかりで不安もありましたが、楽しみの方が強かったです。ニュージーランドでは羊や牛がたくさんいて、始めは驚くばかりでした。観光地ではマオリ文化を体験しました。ポイは想像以上に難しかったです。伝統を大切にしているすごいなと思いました。ホームステイは本当に楽しかったです。ジェスチャーをしながら自分で会話をし、伝わったときとても嬉しかったです。家族はみんな優しく大好きになりました。中学校は本当にたくさんの人がいておもしろかったです。いるだけで楽しくなりました。最初の方はなかなか会話は難しかったけど、日に日に聞き取れるようになってくるので分かって、もっと英語を学んで、会話ができるようになりたいと思いました。日本にみんなが来たときは最高のおもてなしをしたいです。この研修のおかげで将来の道が広がりました。参加できて本当によかったです。

佐賀中学校 3年 濱口 航一朗

僕は今回のニュージーランド研修を終えて感じたことがあります。それは、単純に英語の勉強をもっとやっておくべきだったということです。なかでもリスニングをもっとするべきだったと思います。なぜなら、現地の人たちは次から次へと英語で話してくるからです。

僕が実際にこうなった場面はホストファミリーに会った時です。僕は鼻がその時痛くて、ホストファミリーがとても丁寧に英語で心配してくれていた事を覚えていますが、僕はそれが聞きとれなかったので、とても悔しい思いをしました。また、同時にホストファミリーにも申し訳ない気持ちになりました。

繰り返しになりますが、僕の課題はリスニングです。なので自主学習を通しての学習はもちろん、今後はさらにリスニングの教材を使ってリスニング力をきたえられるように、がんばりたいと思います。

佐賀中学校 3年 藤原 彩花

8月14日から11日間にわたって、ニュージーランド派遣事業がありました。

私は、11日間で特に思ったことや感じたことが2つあります。

1つ目は、目が合うだけで笑ってくれたり「Hi」などと声をかけてくれたことです。私たちが行ったフェアフィールド中学校の生徒たちは特にそのような行動をとってくれました。私は、すごくいいことだなあと思ったし、とてもうれしかったです。

2つ目は、自然がとてもきれいなことです。休みの日にホームステイの家族とビーチに行きました。その途中の道の自然が見とれてしまうほどとてもきれいでした。ずっと緑の草原が広がっていて、たまに牛や羊が放されていて、絵に書いたような風景でした。

ニュージーランドに行って、私の知らなかった世界が知れたし、これからのことに必ず役立つと思います。この夏、とても良い思い出ができて本当に良かったです。

大方中学校 3年 金子 一花

8月14日から24日までニュージーランドに行ってきました。初めての海外で不安でいっぱいだったけどとてもいい思い出になりました。一番心に残ったのはホームステイです。初めはどうしたらいいかわからなかったけど、ホストファミリーが本当に家族のように接してくれるのですぐに慣れることができました。部屋や物に紙で名前を書いてはってくれたので部屋も迷うこともなかったので嬉しかったです。しっかり話せるか心配だったけど、持って来た写真を見せたりお土産を渡したり夜中までずっと毎日話すことができました。

この研修で日本と海外の文化の違いを直接感じる事ができたと、自分からコミュニケーションをとる大切さなど色んなことを学ぶことができました。学んだことをこれからの生活や将来に生かせるようにしたいです。

大方中学校 3年 ハジィフ 璃生

ニュージーランドに行ってたくさんの経験をしました。

まず、初日に行ったマオリ村ではマオリの歴史や風習、文化について体全体で感じる事ができました。夜のマオリショーでは男子全員が前に出てハカをおそわりました。

羊の毛刈りショーでは片耳だけ日本語説明のヘッドホン装着し、もう片耳では英語を聞き、ちょっとした所で少しずつ英語を頭の中に入れていきました。

ホームステイ先では家族が暖かくむかえ入れてくれ、自分の知る英語で精一杯会話し、自分の意思表示をしっかりとすることができました。

ニュージーランドには様々な人種の方がいて、僕のような両親の国が違う人がたくさんいて暮らしやすかったです。この研修で英語の楽しさ、面白さをもっと感じる事ができました。この体験を文化祭で発表し、来年、研修に参加したい人を全力でサポートしていきたいです。

佐賀中学校 3年 藤本 琉己

今回の研修では、日本とニュージーランドの文化や生活の仕方において、「違う点」を探すのが目的でした。この目的の通り、ニュージーランドでは家での過ごし方や、生活習慣を学びました。学習会などで月曜から金曜日は規則正しい生活リズムを送り、土日は家族で夜遅くまで楽しむということを知っていたけどそれを肌で感じる事ができました。日本では、そんな平日と休日で過ごし方が大きく違うということはないので、この違いに驚きました。

学校でも、日本では、みんなで授業を受けるけど、向こうは順番に学んでいたり、床に寝ころがって勉強をしていたということにびっくりしました。

この研修でとてもよかったと思うことは、得意のリスニングを伸ばし、苦手である、自分の気持ちを伝えることができるようにするという点を達成できたことです。

大方中学校 3年 篠田 侑希

今回、ニュージーランドに行くまでは少し不安がありました。でも、行ってからは不安などはほぼ感じず、あっという間に終わってしまいました。

ニュージーランドには、現地の人達だけでなく他の国の人がたくさんいました。実際、自分のホストファミリーもそうでした。そして、その人達全員がニュージーランドの文化や伝統、自然、動物などいろいろなものを大切にしていることが分かりました。

この体験をしてみて、自分の英語の能力が少しずつ上がっているように感じました。英語でしか会話が成り立たないという状況になって、自然に使っていることで少しずつ身につけていったんだと思います。

将来英語を使うかは分からないけど、あつて困るものではないから、今回の経験を生かしながら今後の学習をがんばっていききたいと思います。

大方中学校 3年 松本 もも

私がこのニュージーランド研修で学んだことは、文化や生活の違いを超え、心の通じあえることの素晴らしさです。

ホームステイ中にホストマザーが、「My house is your house.」と言ってきて、家族の一員になったような気持ちで過ごさせてもらいました。

現地の人の英語を聞きとって、普段学習している英語の発音とは違い、少しとまどいました。

これから、世界の色々な文化や生活、歴史、言語などを勉強していきたいと思った11日間でした。

この貴重な体験をこれからの生かし、日本のこと、高知県や黒潮町のことをもっと世界に発信していきたいと思いました。

素晴らしい体験をさせていただき本当にありがとうございました。